

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進		施策番号	8
主担当部署	部名	部長名		
	子ども部	吉野 富夫		

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	2	子どもの成長をみんなで喜ぶまちづくり
		施策展開の方向	2	子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	多様な体験学習や地域との交流を通じ、次代を担う子どもや若者の自立と社会参加を支援し、子どもや若者が家庭や地域に見守られながら健やかに成長するまちをつくります。			
施策内容	子ども・若者への支援を教育、福祉、保健、医療、雇用などに関わる様々な機関がネットワークをつくり、連携しながら取り組むことができる仕組みづくりを推進します。 体験学習や地域活動などを通じ、子どもや若者の自立や社会参加を支援するとともに、子どもと地域の交流を促進します。 また、子ども・若者が気軽に相談できる環境を充実し、思春期における様々な悩み、ニートやひきこもりなどへの対応を図ります。			
目標とする状態	次代を担う子ども・若者が、体験学習や地域の人々との交流を通じ、将来に希望をもち、健やかに成長しています。若者が、地域社会と関わり多様な価値観に触れることで、社会性を身につけ自立しています。			
目標の達成度を測る指標	【指標名】		区分	
			【当初値】	【目標値】
	多様な体験学習へ参加した子どもの延べ人数		3,209人	5,300人
市や地域の事業などに参画した若者の延べ人数		50人	250人	
施策を構成する「主な事業」	主な事業		事業の概要	
	子ども・若者計画策定事業		子ども・若者計画を策定し、子どもと若者の自己形成や社会参加などを促す、子ども・若者育成支援を総合的に推進します。	
	放課後子ども教室推進事業		地域住民などの参画により、子どもたちが放課後の時間に安全に過ごすことのできる遊び場や活動の場を、地域の中に確保します。	
	子ども・若者相談事業		子ども・若者を対象とした相談、困難を抱える子ども・若者の支援、非行・被害防止活動などを実施します。	
	青少年センター改修事業		青少年センターの耐震化工事など、維持管理に必要な改修を推進します。	

施策実施 (D)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段:達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
	多様な体験学習へ参加した子どもの延べ人数	3,209人	5,300人	↗	3,747人 70.7%	4,496人 84.8%	3,949人 74.5%	5,650人 106.6%
市や地域の事業などに参画した若者の延べ人数	50人	250人	↗	117人 46.8%	90人 36%	94人 37.6%	130人 52.0%	

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額	
	事業費合計(a)	8,404	千円	8,651	千円	11,090	千円	12,975	千円	15,576	千円
	人件費合計(b)	5,414	千円	7,680	千円	7,133	千円	7,133	千円	7,133	千円
	トータルコスト(a)+(b)	13,818	千円	16,331	千円	18,223	千円	20,108	千円	22,709	千円

市民意識	項目		平成27年度		満足度と重要度の相関図			その他の市民ニーズ、意見
	満足度	施策の値	0.37		↑ 重要度 ↓	← 満足度 →	A 優先的課題 B ニーズ充足 C 現状維持 D 選択的課題	
		平均値	0.32					
	重要度	施策の値	1.31					
平均値		1.20						

0.32

その他の市民ニーズ、意見

- ・高齢者が元気で、小学生の餅つきや通学時の見守りをしてくれるのは本当にありがたい。
- ・もっと近くに学生が気軽に勉強できる場所を設けてほしい。
- ・当該地域では、徒歩で行ける市の施設は児童館のみで、ほぼ毎日、高齢者のサークルなどで使われ、ミニサロンの場などにもなっている。それを自治会に移管するのはおかしい。

■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	08-101	子ども・若者計画策定事業	(仮称)子ども・若者計画策定	調査・研究	事業推進	事業推進	◎	青少年課
2	08-102	放課後子ども教室推進事業	設置箇所数	0カ所	2カ所	2カ所	◎	青少年課
3	08-103	子ども・若者相談事業	子ども・若者に関する相談件数	150件	170件	210件	◎	青少年課
4	08-104	青少年センター改修事業	青少年センター改修工事	維持管理	維持管理	維持管理	◎	青少年課
5								
6								
7								

■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	08-101	子ども・若者計画策定事業	A	A	A	A	A	青少年課
2	08-102	放課後子ども教室推進事業	A	B	A	B	A	青少年課
3	08-103	子ども・若者相談事業	B	B	A	A	A	青少年課
4	08-104	青少年センター改修事業	B	C	A	B	A	青少年課
5								
6								
7								

↓ 評価 (Check) へ

評 価 (Check)

指標(施策の目標)の達成度評価 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 既に達成している(A) <input type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input checked="" type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D)	D	左記判断理由	<p>「多様な体験学習へ参加した子どもの延べ人数」は、放課後子ども教室を順次増設したので、目標を達成する見込みである。</p> <p>「市や地域の事業などに参画した若者の延べ人数」は、各事業における十分な参加が得られなかったことから、目標を達成する見込みがない。</p>
「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い(A) <input checked="" type="radio"/> 普通(B) <input type="radio"/> 低い(C)	B	取組による成果	<p>放課後子ども教室については、平成27年度に2か所目を開設した。</p> <p>平成26年度に「市子ども・若者育成支援指針」を策定した。</p> <p>また、同指針に基づき、県との共催により困難を抱える子ども・若者やその家族を対象に相談会を開催している。</p> <p>一部達成できなかった指標もあるが、子ども・若者の育成支援を推進する上で、概ね有効に取り組まれていると考える。</p>
市民意識の反映 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 反映している(A) <input checked="" type="radio"/> 概ね反映している(B) <input type="radio"/> 反映できていない(C)	B	左記判断理由	<p>平成27年度に行った市民意識調査では、満足度が平均点を上回っており、前回調査と比較して満足度が上昇していることから、市民意識の反映は概ね足りているものとする。</p>
施策を取り巻く環境変化	<p>核家族化や少子化、地域の人間関係の希薄化、情報化の発展によるインターネットの普及など、子ども・若者を取り巻く環境は大きく変化している。</p> <p>また、ひきこもりや若年無業者、不登校が社会的な問題となっている。</p>			
施策推進上の課題	<p>「市子ども・若者育成支援指針」に基づき、本市の子ども・若者育成支援について、子どもと若者の自己形成や社会参加などを促す支援を、神奈川県と共に推進する必要がある。</p> <p>また、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略により、放課後子ども教室の全小学校区での開設が求められている。</p> <p>青少年センター本館については、公共施設等総合管理計画に基づき、平成30年度末までに他施設への行政機能移転が求められている。</p>			

↓ 施策の改善 (Action)へ

施策の方向性 (Action)

今後の方向性の判断	取組の方向性 〔選択〕	<input type="radio"/> 拡大して実施 <input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し	左記判断理由	<p>伊勢原市子ども・若者育成支援指針に基づき、子どもと若者の自己形成や社会参加などを推進する。</p> <p>放課後子ども教室については、各小学校区に1か所ずつ開設するため、引き続き、毎年度1か所ずつの増設を図る。</p> <p>なお、青少年センター本館については、公共施設等総合管理計画に基づく検討を進める。</p>
	施策の方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し	左記判断理由	<p>多様な体験学習や地域との交流を通じ、時代を担う子どもや若者の自立と社会参加を支援し、家庭や地域に見守られながら健やかに成長できるよう、仕組みづくりを推進するとともに、子どもと若者の自己形成や社会参加などを促す支援を総合的に推進する。</p>